

令和5年3月 市長定例記者会見

令和5年2月15日(水)

午後1時30分 開始

【秘書広報課長補佐】 それでは、ただ今より令和5年3月市長定例記者会見を始めさせていただきます。

会見の進行につきましては、最初に市長の挨拶、その後、事業発表をさせていただきます。事業発表に係る質疑応答の後に、フリーの質疑応答とさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

なお、ご質問の際は、挙手の上、所属名をお願いいたします。発言の際はマイクのスイッチをお願いいたします。

終了は14時30分を予定しておりますので、ご協力をお願いいたします。

それでは、市長、よろしくお願いいたします。

【市長】 3月定例記者会見です。よろしくお願いいたします。

本日は、3月議会の告示日でございます。令和5年度当初予算は、骨格予算として出すこととなります。議会の中で進めていきたいと思っております。

2月3日に北前船寄港地フォーラムin Okinawaに出席をさせていただきました。これまでは市町単位でフォーラムを実施しておりましたけれども、今回は沖縄、次が岡山、その次が東北海道ということになります。敦賀だけではなく福井県全体で北前船寄港地フォーラムが盛り上がっていけば、新たな観光資源になるんじゃないかと感じたところです。

それから先日、福井大学が招致しましたウクライナ人研究者の表敬を受けました。ロシアの侵攻があって1年以上、原子力関係で国を守りながら国家を存続させるというところで尽力してきたという気概を感じました。敦賀にいる期間は限られておりますが、英気を養って、ウクライナで活躍されることを期待したいと思っております。

19日日曜日は、新しい庁舎を見ようということで、敦賀市役所と敦賀美方消防組合新庁舎のイベントを行います。たくさんの方にぜひ来ていただきたいと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。

【秘書広報課長補佐】 続きまして、事業発表をお願いいたします。

【市長】 事業発表は3つございます。

1つ目は、令和5年度当初予算、令和4年度3月補正予算の概要でございます。

令和5年度当初予算は、第7次敦賀市総合計画に掲げた施策について、各戦略に沿った事業に対し重点的に配分を行うとともに、4月の統一地方選挙を控え、骨格予算となりますが、継続費、債務負担行為が設定された事業や早期に予算措置を必要とする事業を計上し、市民生活や円滑な事業実施に支障が生じないように留意しました。

予算編成に当たっては、事業目的に応じ、ふるさと応援基金等からの繰入れを行うとともに、国の第2次補正予算に合わせて事業の一部を令和4年度の補正予算に前倒しすることにより、事業の推進と健全財政維持の両立を図りました。

その結果、新年度の予算規模は、前年度と比較して一般会計は1.3%の増、全会計では0.03%の減となりました。

当初予算の主な事業といたしましては、お手元に配付した資料のとおりですが、予算編成の重点施策ごとに主な事業を申し上げます。

初めに、「新幹線開業に向けたにぎわいの創出」につきましては、北陸新幹線敦賀開業プロモーション事業として、市内の機運醸成、受け入れ体制整備を加速させる市内向けのプロモーションと、首都圏を中心とした市外での認知度向上を進める市外向けのプロモーションを実施いたします。また、令和6年秋に開催される北陸デスティネーションキャンペーンに向けて、本年秋に開催される全国宣伝販売促進会議等にてPRを行う経費を計上いたしました。

また、新たに敦賀駅の東口が整備されることに伴い、自動車による来訪者を駅の東口、西口へスムーズに案内できるよう道路標識の設置を実施するとともに、リラ・ポートや金ヶ崎緑地等への観光案内看板を整備いたします。

次に、「子育て環境日本一の実践」につきましては、市内の私立高等学校が実施する、金メダリストである金城梨紗子選手などの著名なスポーツ選手等のご協力をいただき、教育環境の魅力向上・充実を図る予算を計上するとともに、空調設備改修や体育館屋上防水改修等に対して補助を行います。

また、快適な子育て環境を維持するため、公立保育園や子育て支援センターにおいて空調設備の計画的な改修を進めます。さらに、公立保育園における安全性向上のため、屋外にカメラを設置いたします。

次に、「グリーン&デジタル都市への挑戦」につきましては、マイナンバーカードを利用し、住民票などの市が発行する証明書を各地のコンビニエンスストア等において取得できるサービスを導入するとともに、引き続きマイナンバーカード申請サポートセンターを開設し、マイナンバーカードの普及推進を図る経費を計上いたしました。

以上が令和5年度当初予算の概要でございます。

続きましては、令和4年度3月補正予算について説明します。

3月補正予算につきましては、事業の完了や財源の確保に伴うもののほか、早期に予算措置を必要とするものについて計上いたしました。

まず、一般会計では、私立保育園等の福祉施設における電気料等の高騰分を支援する予算や、第95回記念選抜高等学校野球大会に出場する敦賀気比高等学校への激励費を予算計上しました。

その他の予算といたしましては、職員の早期退職に伴う退職手当や、福井県が実施する敦賀駅東線などの道路整備事業や敦賀西部地区土地改良事業の負担金を計上いたしました。

次に、特別会計では、国民健康保険特別会計において保険給付費の不足見込み額を、介護保険特別会計では前年度決算における余剰額確定等に伴う基金積立金を計上いたしました。

以上が3月議会に提案いたします令和5年度当初予算及び令和4年度3月補正予算の概要でございます。

続きまして2つ目ですが、地域プレーヤーと連携した北陸新幹線敦賀開業1年前イベントの開催についてでございます。

3月18日、19日の両日、本市ならではの観光資源や歴史・文化の発信、北陸新幹線沿線市町など関係自治体との相互交流等を目的とした観光物産イベントを開催いたします。

本イベントは、従来、観光物産inみなと敦賀として、きらめきみなと館を主会場に開催

していましたが、今回は、北陸新幹線敦賀開業1年前を契機に、駅前や氣比神宮前などの町なかに会場を移し、開催します。

当日は、敦賀駅西広場周辺で開催されるつるが鉄道フェスティバルをはじめ、市内まちづくり団体や商店街等の各プレーヤーが主催するイベントがJR敦賀駅から金ヶ崎緑地までのエリア各所で開催されます。各イベントと連携し、エリア全体で北陸新幹線敦賀開業1年前イベントとして一体感を持って開催することで、新幹線開業に向けた市民の機運醸成につながることを期待しています。

なお、同月21日には、大型外国クルーズ客船ウエステルダムが敦賀港に初入港しますので、歓迎イベントを開催します。入港概要につきましては別途発表いたしますので、よろしくお願いいたします。

それから3つ目です。ウクライナ研究者との座談会について申し上げます。

福井大学附属国際原子力工学研究所ではウクライナ人研究者をお招きし、ウクライナの現状などについて一般の方を対象にお話しいただく座談会を開催します。福井大学附属国際原子力工学研究所では、現在4名のウクライナ人研究者を招聘しており、先日の2月10日には表敬を受けました。

今回の座談会では、ウクライナについて紹介する映像の上映や、ご自身の体験談などを通じて、一般の方にもウクライナの現状を知っていただくよい機会と考えておりますので、定員50名ですが、ぜひとも皆さん来ていただきたいです。

発表項目は以上です。

【秘書広報課長補佐】 それでは、ただいま発表いたしました項目につきまして質問をお受けしたいと思います。最初に幹事社さんのほうからお願いいたします。

【記者】 予算について教えてください。

最後の予算編成となったということなんですけれども、どんな思いを込められたのか教えてください。

【市長】 骨格予算なんですけれども、新幹線が1年後に開業しますので、新幹線についてしっかりと準備ができる予算配分で考えてさせていただきました。

【記者】 新幹線のお話もあったと思うんですが、予算の中で大きく配分を取っているのが新幹線ということと、あと、事業の一つとして地域プレーヤーと連携したイベントの実施ということもあるんですが、予算の中でも地域の商店街や事業者の店舗の改修の支援というの也被っていたと思うんですが、市として新幹線というのを改めてどういうふうに迎え入れたいか今回その予算案を組んでいるのかお伺いしたいです。

【市長】 以前、JRの直流化というときに期待したんですけれども、敦賀市内に降りていただけなかったという経験をしています。

その中で、いかに敦賀が目的地になっていただくかというのが一番大事だと思っています。人道の港ということもそうですし、敦賀真鯛、敦賀ふぐなどの食材もそうですが、魅力発信という目的地になるようなまちを目指してきたわけです。

その中で、本町1、2丁目の2車線化、コロナでしたから大きなイベントはできませんので、道路空間を利用して、市民の皆さんが主体とした小さなイベントを支援する形。自然発生的にいろんなことがそこで行われているということで、大分、家族連れの方たちの歩行者というか散策者が増えてきたんだと考えています。

その中で、駅前のおt t aができましたし、ちえなみきも人気がありますので、新幹線で来た人たちが一旦敦賀に降りてみよう、もしくは最終駅の敦賀駅というところを中京、阪神から見よう。そしてo t t aに来て、ちょっと面白そうだから観光地を回ってみようかなみたいな仕掛けはできたかと思います。

その中で、県と基金を組ませていただいて、店舗の改修資金というのもキープできました。来てみてよかったねでなくて、そこで宿泊していただいたり食べ物を食べたり何か物を買っていただいて経済に反映させるような仕掛けというのが必要だと思っていますので、そういうところを予算の中で配分したという形になろうかと思っています。

【秘書広報課長補佐】 それでは、各社にお伺いいたします。発表項目につきまして質問がございましたら挙手をお願いいたします。

【記者】 市長、勇退なさるわけですけれども、骨格ですけれども、3本柱で予算配分した中で、今、新幹線のお話をいただきましたが、子育て環境日本一の実践など、ほかの2つの柱についても込めた思いをお聞かせください。

【市長】 子育て環境につきましては、ふるさと納税が好調ですので、前年度、保育園の改修をさせていただいているんですけれども、コロナ禍で、なかなかイベントができなくて思い出が残らないんじゃないかなと思いますので、そういう意味では、外壁や空調設備を改修したり、計画を前倒しすることで、子育て環境の充実ということを今回の予算では組ませていただいたと思っております。

それから、グリーン&デジタルというところですよ。これにつきましては、ここで述べています、住民票のコンビニ証明もありますけれども、ドローンも進めておりますので、継続してやっていけるように思っておりますし、もう一つは、昨年度からやっています森林譲与税を利用して松原の散策道の整備をやるようしておりますので、それについても前に進めていただけたらと思っております。

【記者】 予算で、ふるさと納税について教えてください。ふるさと納税の歳入の規模が昨年と同程度で50億円ということですよ。不安定な財源とはいえ、昨年と同様50億を計上し、さらには応援基金も先程ありましたけれども95事業に18億円を充当するというので、まちづくりにとっても大きな存在になっているのかなと思います。ここまでふるさと納税が育ってきたことに対して、ご感想をいただけないでしょうか。

【市長】 ふるさと納税につきましては、私、市長になったときはやってなかった事業ですよ、ゼロからスタートして上手にできたなと思っております。これはひとえに協力していただいた事業者の皆さんと市の職員の努力の成果であります。中間事業者を入れたり、いろいろと工夫してきたところがあると思いますので、本当に感謝しかないです。

もう一つは、使い道については1年置いておいてどう使うかを考えましょうという中で、今おっしゃるように不安定な財源であります。それを単年度で次の年に使ってしまうんじゃないかと、少し長期的な使い方も考えながら基金に積んだり、借金がありますからお金を返すのに使ったりとか、そういうことも含めながらやっていったほうがいいんじゃないかと思っています。

【秘書広報課長補佐】 ほかにいかがでしょうか。

[なし]

【秘書広報課長補佐】 それでは、次第の3番目、フリーの質疑応答へといきたいと思

ます。これも幹事社さんのほうからお願いいたします。

【記者】 原子力の関係で、政府が10日、核のごみの最終処分場の候補地に関する基本方針の改定案をまとめました。当初案では、政府は、原発が立地する自治体と、首長らと協議の場を設けると明記していたということなんですけれども、地元からの反発を受けて一部修正をしたと。この間、敦賀市のほうから何か政府のほうに申し入れなり問い合わせなりをしたことはありますでしょうか。

【市長】 私のほうから申し入れとか問い合わせをしたことはありませんけれども、原子力懇談会がありましたので、原子力懇談会の席上では、立地については審査していこうとすると滞ったときに出ていかないという可能性もあるので、その辺は配慮してほしいということは述べさせていただきました。

あと、事務局で問い合わせたかどうか事務局から答えます。

【企画政策部長】 担当課のほうから事務的に問い合わせはさせていただきましたけれども、内容を確認しただけでございまして、意見等は言ってございません。

以上です。

【秘書広報課長補佐】 ほかによろしいでしょうか。

〔なし〕

【秘書広報課長補佐】 それでは、各社にお伺いいたします。ご質問がございましたら挙手のほうをお願いいたします。よろしいでしょうか。

〔なし〕

【秘書広報課長補佐】 それでは、これをもちまして市長定例記者会見を終了いたします。本日はありがとうございました。

午後 1時 50分 終了